

(様式 2)

事業計画書

《 応募時点において、 創業済み、 創業前 》

(1) 応募者の概要等 (項目を確認の上、記載してください。選択項目は、該当するものに☑してください。)

① 応募者

ふりがな 氏名 (代表者氏名)	〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇〇	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	生年月日 (年齢)	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 ・ <input type="checkbox"/> 平成 47年9月8日 (45 歳)
連絡先住所等	〒272-0000 市川市八幡〇-〇-〇 〇〇〇マンション			本事業創業 直前の職業	<input type="checkbox"/> 1. 会社役員 <input type="checkbox"/> 2. 個人事業主 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 会社員 <input type="checkbox"/> 4. 専業主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 5. パートタイマー・アルバイト <input type="checkbox"/> 6. 学生 <input type="checkbox"/> 7. その他 ()
	TEL	047-000-0000			
	FAX	047-000-0000			
	E-mail	〇〇〇@△△. Jp			
本事業以外の 事業経営経験	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を経営したことがない。 <input type="checkbox"/> 事業を経営したことがあり、現在もその事業を続けている。 ↳ 事業形態 [<input type="checkbox"/> 個人事業、 <input type="checkbox"/> 会社、 <input type="checkbox"/> 企業組合・協業組合、 <input type="checkbox"/> 特定非営利法人] 事業内容 [] ※応募事業と類似の事業の場合は、差別化している点を「(2) ①事業の具体的な内容」に記載してください。 <input type="checkbox"/> 事業を経営していたが、既にその事業をやめている。(やめた時期: <input type="checkbox"/> 昭和・ <input type="checkbox"/> 平成 年 月)				
職 歴	2000年 4月	(株)〇〇 新商品開発部 (〇〇の開発等に従事)	等に15年間勤務		
	年 月				
	年 月				
	年 月				

② 実施形態

開業・法人設立 日 (予定日)	2019年10月1日 (補助事業期間内に開業又は法人設立を行う必要があります。)		ふりがな 法人名 (屋号)	-	
特定非営利活動法人 の場合のみ記載	特定非営利 活動の種類	<input type="checkbox"/> 7) 中小企業者と連携して事業を行うもの <input type="checkbox"/> 8) 中小企業者の支援を行うために中小企業者が主体となって設立するもの <input type="checkbox"/> 9) 新たな市場の創出を通じて、中小企業の市場拡大にも資する事業活動を行う 者であって、有給職員を雇用するもの			
事業実施地 (予定地)	〒272-0000 市川市八幡1-1-1		事業形態	<input type="checkbox"/> 1. 個人事業 ↳ <input type="checkbox"/> 補助事業期間中の 法人化も検討している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 会社設立 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 株式会社 <input type="checkbox"/> 2-2 合名会社 <input type="checkbox"/> 2-3 合資会社 <input type="checkbox"/> 2-4 合同会社 <input type="checkbox"/> 3. 組合設立 ↳ <input type="checkbox"/> 3-1 企業組合 <input type="checkbox"/> 3-2 協業組合 <input type="checkbox"/> 4. 特定非営利活動法人設立	
主たる業種 (日本標準産業分類 中分類を記載)	中分類名: 食料品小売業 コード(2桁): 58				
資本金又は 出資金 (会社・組合)	3,000千円 (うち大企業からの出資: - 千円)				
株主又は 出資者数 (会社・組合)	1名 (うち大企業からの出資: - 名)				
役員・ 従業員数	合計	2名	内 訳	①役員: (法人のみ) 1名 (うち大企業の役員又は職員を兼ねている者 - 名)	
				②従業員: 名	
				③パート・アルバイト: 1名	
事業に要する許認可・免許等 (必要な場合のみ記載)			許認可・免許等名称: 取得見込み時期:		

(2) 事業内容 (事業全体について、詳しく記載してください。枠に収まらない場合は適宜広げてください。)

①本事業の具体的な内容 (フランチャイズ契約を締結し、行う事業ですか → はい・いいえ)

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

②本事業の動機・きっかけ及び将来の展望

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

③ターゲットとする顧客

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

④販売方法

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

⑤価格設定

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

⑥広告・宣伝方法、販売促進策

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

⑦本事業の知識、経験、人脈、熱意

「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

⑧本事業のセールスポイント

独創性・新規性	「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。
市場性・成長性	「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。
実現可能性	「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。
収益性	「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。
市川市への 貢献度合	「事業計画書の記入要領」に則して記入してください。

⑨本事業全体に係る資金計画（新事業の立ち上げ（準備から補助事業期間の終了までの間）に必要な全ての資金と調達方法を記載してください。）（単位：千円）

必要な資金		金額	調達の方法	金額	
設備資金	(内容) 保証金 店舗内装工事 〇〇、〇〇等の機械装置 〇〇、〇〇等の備品	500 1,000 1,000 500	自己資金 金融機関からの借入金 (調達先) 〇〇銀行〇〇支店	3,000 5,000	
	設備資金の合計	3,000	その他（本事業の売上金、親族からの借入金等） (内容) 父親からの借入	5,000	
	運転資金	(内容) 人件費（3名、12ヶ月） 店舗家賃（12ヶ月） 商品仕入れ（12ヶ月） 光熱費（12ヶ月） 旅費 広告宣伝費 その他（主に〇〇）	3,600 1,400 3,000 390 300 2,000 310	補助金交付希望額 ((4)経費明細表(B)の額と一致。補助金は補助事業実施期間終了後に検査を経てお支払する形となりますので、補助金支払いまでの間、応募者ご自身で補助金交付希望額相当額を手当していただく必要があります。その手当方法について、下表《補助金交付希望額相当額の手当方法》に記載してください。)	1,000
		運転資金の合計	11,000		
合 計		14,000		14,000	

《補助金交付希望額相当額の手当方法》（単位：千円）

方法	金額
自己資金	
金融機関からの借入金 (調達先：〇〇銀行〇〇支店)	1,000
その他（調達先：)	
合計額（(4)経費明細表(B)の額と一致）	1,000

⑩事業スケジュール

実施時期	具体的な実施内容
1年目	〇年〇～〇月 店舗改装の準備 〇年〇～〇月 仕入先・外注先との打ち合わせ（〇〇に係る調整） 〇年〇～〇月 広報戦略の練り直し（〇〇氏に相談） 〇年〇～〇月 店舗改装工事期間 〇年〇～〇月 PR活動（〇〇を活用） 〇年〇月 改装オープン …
2年目	… …
3年目	… …

⑪売上・利益等の計画

	1年目 (2019年10月～2020年9月期)	2年目 (2020年10月～2021年9月期)	3年目 (2021年10月～2022年9月期)
(a) 売上高	15,000 千円	17,000 千円	20,000 千円
(b) 売上原価	5,000 千円	5,500 千円	6,000 千円
(c) 売上総利益(a-b)	10,000 千円	12,500 千円	14,000 千円
(d) 販売管理費	8,000 千円	8,500 千円	9,000 千円
営業利益(c-d)	2,000 千円	4,000 千円	5,000 千円
従業員数	3 人 (うちパート・アルバイト 3 人)	4 人 (うちパート・アルバイト 4 人)	4 人 (うちパート・アルバイト 4 人)
積算根拠	<p>【売上高】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品A (販売先: 一般個人): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 商品B (販売先: 一般個人(通販)): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 <p>【売上原価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原価率〇%、算定根拠(業界平均など) 主な仕入先: 〇〇 <p>【販売管理費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費: パート3人 (時給1千円、6時間/日) 〇円/時間×〇時間×日数×〇人=〇円 店舗借入れ費 〇円/月×〇月=〇円 設備リース 光熱費 広告宣伝費 等 	<p>【売上高】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品A (販売先: 一般個人): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 商品B (販売先: 一般個人(通販)): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 <p>【売上原価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原価率〇%、算定根拠(業界平均など) 主な仕入先: 〇〇 <p>【販売管理費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費: パート4人 (時給1千円、6時間/日) 〇円/時間×〇時間×日数×〇人=〇円 店舗借入れ費 〇円/月×〇月=〇円 設備リース 光熱費 広告宣伝費 等 	<p>【売上高】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品A (販売先: 一般個人): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 商品B (販売先: 一般個人(通販)): 単価〇円×〇個/日×営業日数=〇円 <p>【売上原価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原価率〇%、算定根拠(業界平均など) 主な仕入先: 〇〇 <p>【販売管理費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費: パート4人 (時給1千円、6時間/日) 〇円/時間×〇時間×日数×〇人=〇円 店舗借入れ費 〇円/月×〇月=〇円 設備リース 光熱費 広告宣伝費 等

別添添付でも構いません

(3) ビジネスプランコンテストの受賞や他の補助金等の実績説明 (該当案件がある場合のみ記載)

<ビジネスプランコンテストの受賞実績>

①コンテストの名称	ウーマンビジネスコンテスト
②主催/後援	〇〇区/〇〇銀行
③受賞した内容	〇〇〇〇 (添付資料有り)
④受賞時期	2018年3月

①コンテストの名称	〇〇ビジネスコンテスト
②主催/後援	〇〇公庫/〇〇市
③受賞した内容	〇〇〇〇 (添付資料有り)
④受賞時期	2018年12月

<他の補助金等の交付を受けた実績>

①補助金・委託費名称	「実施中」〇〇〇〇補助金
②事業主体(関係省庁等)	〇〇省
③テーマ名	〇〇〇〇〇に係る研究
④実施時期/補助金等金額	2019.10~2020.9 2,000千円

① 助金・委託費名称	「応募中」〇〇〇〇補助金
② 事業主体(関係省庁等)	市川市
③ テーマ名	〇〇〇〇〇
④ 実施時期/補助金等金額	2019.8~2020.12 1,000千円

(4) 経費明細表 (「(2) ④本事業全体に係る資金計画」の設備資金及び運転資金の内容の中から、補助事業期間中に補助対象とするものを記載してください。) (単位: 円)

経費区分	費目	補助対象経費 (消費税込)	補助金 交付希望額	「補助対象経費(消費税込)」に係る 積算基礎
			(A×2/3以内)	
I 人件費	(1) 人件費	3,600,000		パート3名 時給〇円×〇時間×日数×〇人=〇円
II 事業費	(1) 創業に必要な官公庁への 申請書類作成等に係る経費			月〇円×〇月=〇円
	(2) 店舗等借入費	1,400,000		内装工事 〇円 機械装置(〇〇) 〇円 備品(〇〇) 〇円
	(3) 設備費	2,500,000		
	(4) 原材料費			
	(5) 知的財産等関連経費			
	(6) 謝金			
	(7) 旅費			
	(8) マーケティング調査費			
	(9) 広報費	2,000,000		パンフレットの印刷 〇円/部×〇部=〇円 〇〇紙への広告掲載 〇円×〇回=〇円
	(10) 外注費			
III 委託費	(1) 委託費			
合計		(A) 9,500,000	(B) 1,000,000	

※(B)は、(A)の2/3以内であって、千円未満切捨てによる金額とする。但し100万円を限度とする。